

## 安全データシート

作成日 2025年2月3日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Solketal  
 供給者の会社名称 アーク株式会社  
 住所 大阪市中央区安土町3-5-13 本町ガーデンシティテラス 3階  
 電話番号 06-6563-7710  
 FAX番号 06-6563-7720  
 推奨用途及び使用上の制限 一般工業用

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 JIS Z 7252, 7253:2019 使用  
 物理化学的危険性 引火性液体 区分4  
 健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激 区分2A  
 環境に対する有害性 該当する区分なし  
 GHSラベル要素  
 絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告  
 危険有害性情報 可燃性液体  
 強い眼刺激

## 注意書き

**【安全対策】**  
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 炎および高温のものから遠ざけること。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。

**【応急措置】**  
 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
 皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

**【保管】**  
 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
 施錠して保管すること。

**【廃棄】**  
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区別 化学物質

化学名	(2,2-ジメチル-1,3-ジオキサラン-4-イル)メ タノール	2,2-ジメチル-1,3-ジオキサン-5- オール
濃度又は濃度の 範囲	97-99.5%	0.5-3%
CAS番号	100-79-8	3391-30-8
官報公示整理番 号	化審法:5-3554、2-2476、安衛法:公表化 学物質	化審法:2-2476、安衛法:公表化 学物質

4. 応急措置 吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 汚染した衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。
目に入った場合	皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用している場合に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合 応急措置をするものの保護	眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 ゴム手袋、密閉ゴーグル等の保護具を着用する。
5. 火災時の措置 消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 棒状放水 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	消火水は汚染を引き起こすおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項 回収・中和	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 風上に留まる。 密閉された場所に立入る前に換気する。 環境中に放出してはならない。 湿らせてもよい場合は、粉じんを避けるために湿らせてから掃き入れる。
封じ込め及び浄化方法及び機材	ウエス、乾燥砂、土、おがくず等に吸収させて回収する。
二次災害の防止策	大量の流出には盛土で囲って流出を避ける。 付近の着火源、高温袋を速やかに取り除く。 着火した場合に備えて消火用機材を準備する。 火花を発生しない安全な用具を使用する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	技術的対策
	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気
	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
	安全取扱い注意事項
	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 飲み込みを避けること。 眼との接触を避けること。 皮膚との接触を避けること。 粉じん、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 排気用の換気を行うこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出を避けること。
保管	技術的対策 保管条件
	データなし 冷所、換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉して保管すること。 施錠して保管すること。
	容器包装材料
	データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		未設定
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)		
	日本産衛学会(2007年ACGIH(2007年版))	未設定 未設定
設備対策		この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。 適切な呼吸器保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。 適切な保護衣を着用すること。
衛生対策		取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状 色 臭い pH	液体 白色 データなし データなし
融点・凝固点		< -50°C
沸点、初留点及び沸騰範囲		192.3°C
引火点		90°C
自然発火温度		390°C
燃焼性(固体、ガス)		情報なし
爆発範囲		情報なし
蒸気圧		0.36mBar>、 $\geq 0.32$ mBar
蒸気密度		情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		情報なし
密度及び/又は相対密度(g/ml)		1.07
相対ガス密度		4.6
溶解度		水:混和、その他溶剤 アルコール:混和
オクタノール・水分係数		情報なし
分解温度		情報なし
粘度		情報なし
粉じん爆発下限濃度		情報なし
最小発火エネルギー		情報なし
体積抵抗率(導電率)		情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	適切な条件下においては安定。
危険有害反応可能性	特別な反応性は報告されていない。
避けるべき条件	裸火
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素

## 11. 有害性情報

急性毒性	ipr-rat LD50: 3000 mg/kg orl-rat LD50: 7000 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷/刺激性	eye-rbt 100 mg
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	mnt-mus-ipr 1500 mg/kg
発がん性	IARC:情報なし、NTP:情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)		情報なし
誤えん有害性		情報なし
<b>12. 環境影響情報</b>		
生態毒性	魚類: 情報なし 甲殻類: 情報なし 藻類: 情報なし	
残留性・分解性	情報なし	
生体蓄積性(BCF)	情報なし	
土壤中の移動性		
オクタノール/水分配係数	情報なし	
土壤吸着係数(Koc)	情報なし	
ヘンリー定数(Pam <sup>3</sup> /mol)	情報なし	
オゾン層への有害性	情報なし	
<b>13. 廃棄上の注意</b>		
残余廃棄物		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装		容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
<b>14. 輸送上の注意</b>		
国際規制	海上規制情報 航空規制情報 UNNo.	該当しない 該当しない 該当しない
国内規制	陸上規制情報 海上規制情報 航空規制情報	該当しない 該当しない 該当しない
特別安全対策		運搬に際しては容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を行い、法令の定めるところに従う。
<b>15. 適用法令</b>		
消防法		第4類 第三石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性
<b>16. その他の情報</b>		
特に無し		